

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2007年第46週  
(11月12日～11月18日)

- \* 2007年11月21日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は月報告(2007年10月)の疾患、及び感染症豆知識  
「ダニ媒介脳炎」も掲載しています。

2007年11月22日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会  
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話 : 03-3363-3213(直通)  
FAX : 03-5332-7365  
e-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2007年46週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ベスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	81	80	78	66	2518	289	16171
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三類	コレラ					2		12
	細菌性赤痢	2	1	1	2	77	9	422
	腸管出血性大腸菌感染症	10	4	4	3	447	47	4356
	腸チフス					11	1	44
	パラチフス	1	1			6		18
四類	E型肝炎			1		3		50
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					17	3	136
	エキノкокクス症					3		14
	黄熱							
	オウム病					1		28
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		4
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					2		3
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病			1		3	19	144
	デング熱	1	1			22	1	82
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ #							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						5	84
	日本脳炎							8
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							3
	マラリア		1			22	1	48
	野兔病							
ライム病					3		10	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	1	2		48	7	573	
レプトスピラ症					3		27	
ロッキー山紅斑熱								

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		43週	44週	45週	46週	年累計	46週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	1	5	4	3	154	9	684
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1			1	35	4	209
	急性脳炎 **					17		196
	クリプトスポリジウム症					1		6
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1	1		13		123
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1				6	1	87
	後天性免疫不全症候群	15	9	12	12	455	16	1285
	ジアルジア症	1				15		48
	髄膜炎菌性髄膜炎					2		14
	先天性風しん症候群							
	梅毒	6	10	4	2	145	10	630
	破傷風					1	2	85
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1			14		68	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2007/11/21集計								

\* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*\* ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

# 2007年14週集計分より「高病原性鳥インフルエンザ」から「鳥インフルエンザ」に変更

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

**結核** 66件

肺結核25件、その他41件で、推定感染地は国内48件、不明18件であった。年齢群は10歳未満28件(うち5歳未満27件)、10歳代1件、20歳代3件、30歳代6件、40歳代5件、50歳代5件、60歳代9件、70歳代4件、80歳代4件、90歳代1件であった。

〈三類感染症〉

**細菌性赤痢** 2件

ともにソンネで、推定感染地は国内1件、インド1件であった。

**腸管出血性大腸菌感染症** 3件

すべて有症者で、血清型・毒素型は、O26(VT1) 2件、O91(VT1) 1件であった。年齢群は、5歳未満2件、70歳代1件であった。

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢** 3件

すべて腸管アメーバ症で、推定感染地はいずれも不明、推定感染経路は性的接触2件(同性間1件、異性間1件)、不明1件であった。

**ウイルス性肝炎** 1件

C型で、HCV陽性患者に使用した針の誤刺による感染が疑われている。

**後天性免疫不全症候群** 12件

無症候キャリア8件、AIDS 1件、その他 3件であった。推定感染地は国内10件、タイ1件、フランス/香港1件で、推定感染経路はすべて性的接触(同性間10件、異性間1件、両性間1件)であった。

**梅毒** 2件

早期顕症梅毒Ⅰ期3件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件で、推定感染経路はいずれも性的接触(同性間1件、異性間1件)であった。

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数 2007年46週

疾病名	2007年				4週合計	年累計
	43週	44週	45週	46週		
RSウイルス感染症	29	56	61	53	199	829
インフルエンザ	112	174	185	293	764	44,689
咽頭結膜熱	20	28	20	24	92	2,550
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	203	198	227	227	855	10,242
感染性胃腸炎	572	556	814	1,002	2,944	32,332
水痘	74	96	141	150	461	7,533
手足口病	80	50	63	80	273	4,160
伝染性紅斑	18	15	29	24	86	2,706
突発性発しん	100	77	97	106	380	4,184
百日咳	5	2	10	10	27	128
風しん	0	1	0	0	1	32
ヘルパンギーナ	34	23	35	19	111	6,722
麻しん(成人麻しんを除く)	2	3	1	2	8	300
流行性耳下腺炎	25	17	33	38	113	1,747
不明発しん症	10	9	7	14	40	601
MCLS	0	2	1	0	3	99
急性出血性結膜炎	1	1	2	4	8	72
流行性角結膜炎	27	22	24	25	98	857
細菌性髄膜炎	1	0	0	0	1	27
無菌性髄膜炎	0	1	1	1	3	50
マイコプラズマ肺炎	2	6	9	8	25	181
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	1	1	0	3	18
成人麻しん	2	0	1	0	3	257
2007/11/21集計						

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は、流行開始の目安とされる1.0を超えた。これは1999/2000年シーズン以降では最も早い(1999/2000年は50週で、以降、5週、3週、51週、51週、2週、51週、4週)。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加し、過去5年平均と同レベルで推移している。
- ・百日咳の定点当たり報告数は、前週と同様高い値であり、実数で10人、うち1人が20歳以上であった。

### (定点医療機関からのコメント)

#### 渋谷区保健所管内定点医療機関

- ・不明発しん症1名は、臨床経過から麻しんが疑われる(MRワクチン未接種)が、抗体検査は未実施。

#### 多摩小平保健所管内定点医療機関

- ・成人麻しん1名(20歳以上男)発生。

\*インフルエンザに関するコメントは16頁にまとめて記載しました。

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2007年46週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～5か月	8				9	2	1		5
～11か月	8	4	1	1	55	7	5	1	48
1歳	22	10	3	4	185	31	13	1	41
2歳	6	11	2	6	98	24	14	2	9
3歳	6	18	2	12	88	22	13	1	2
4歳	3	23	2	28	92	24	16	2	
5歳		32	3	30	72	13	5	5	
6歳		30	3	32	59	12	4	3	
7歳		36	1	30	52	6	3	2	
8歳		18	2	21	47	2	2	3	1
9歳		27	2	8	40	3	1	1	
10～14歳		28	3	27	58	2	3	3	
15～19歳		3		5	15				
20～29歳		14		23	132	2			
30～39歳		21							
40～49歳		15							
50～59歳		1							
60～69歳		1							
70～79歳		1							
80歳以上									
合計	53	293	24	227	1,002	150	80	24	106
先週比	-8	108	4	0	188	9	17	-5	9

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～5か月	2								
～11か月			2					1	
1歳			2	1	1			8	
2歳	1		1		2	1		1	
3歳			4		6			1	
4歳			2		2	1	1	1	
5歳	1		4		7				
6歳	1				3				
7歳	1		1		4				
8歳	1		3		7			2	
9歳					3				
10～14歳	1			1	3	1	1		
15～19歳	1								
20～29歳	1						4		
30～39歳							6		
40～49歳							7		
50～59歳						1	1		
60～69歳							4		
70～79歳							1		
80歳以上									
合計	10	-	19	2	38	4	25	14	-
先週比	0	0	-16	1	5	2	1	7	-1

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2007年46週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	6	2				1				
中央区		6		2	7	2			2	
みなと	10	16	3	13	52	7			4	
新宿区		15	1	4	16	5			1	
文京		33			3	1				
台東	1	8	3	1	37	2			7	
墨田区	3	2		2	10	5			1	
江東区		22		3	67	3	7		5	
品川区	1	4		4	97	5	4		3	1
目黒区		11		2	5	3	3			
大田区	7	9	1	25	54	8		8	3	1
世田谷	2	17		12	58	4	5	1	8	
渋谷区		6	1		22	1			3	3
中野区	2	3	4		46	1	1	1	2	
杉並		13	1	4	64	6	8		5	
池袋		13		2	2		1		3	
北区		1		2	28	8	3		4	
荒川区		4		8	14	2			1	
板橋区				1	15	2			2	
練馬区		7	1	8	15	5	3	1	2	1
足立		1	3	1	41	1	3	2	3	
葛飾区		1		3	29	10			5	
江戸川	4	16	1	24	24	7	17	1	9	
西多摩	1	3		7	23	7	2	1	4	1
八王子	2	1	1	23	70	8	5	2	6	3
南多摩	1			4	17	10	8	1	6	
町田		63		55	46	17	3	4	5	
多摩立川		3		5	10	4	1			
多摩府中		2		5	28	7	1	2	6	
多摩小平	13	10	4	7	99	8	5		6	
島しょ		1			3					

東京都合計	53	293	24	227	1,002	150	80	24	106	10
定点当り報告数	0.36	1.02	0.16	1.52	6.72	1.01	0.54	0.16	0.71	0.07

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS	合計
千代田									9
中央区									19
みなと							1		106
新宿区						3			45
文京				1					38
台東									59
墨田区		2							25
江東区		2				1			110
品川区			1	2			2		124
目黒区						1			25
大田区		1		10					127
世田谷						2	1		110
渋谷区		3				1	1		41
中野区				1					61
杉並			1	1					103
池袋				3					24
北区				1		3			50
荒川区						1			30
板橋区		1							21
練馬区		3				1			47
足立		1		1	4	2			63
葛飾区						1	1		50
江戸川		2		11		2			118
西多摩		1							50
八王子				4			1		126
南多摩									47
町田		3					7		203
多摩立川				1		1			25
多摩府中				2		2			55
多摩小平						4			156
島しょ									4

東京都合計	-	19	2	38	4	25	14	-	2,071
定点当り報告数	-	0.13	0.01	0.26	0.10	0.64	0.09	-	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2007年46週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田	1.50	0.40				0.25				
中央区		1.50		0.67	2.33	0.67			0.67	
みなと	1.67	2.00	0.50	2.17	8.67	1.17			0.67	
新宿区		1.67	0.17	0.67	2.67	0.83			0.17	
文京		6.60			1.00	0.33				
台東	0.33	1.60	1.00	0.33	12.33	0.67			2.33	
墨田区	1.00	0.33		0.67	3.33	1.67			0.33	
江東区		2.44		0.75	16.75	0.75	1.75		1.25	
品川区	0.17	0.40		0.67	16.17	0.83	0.67		0.50	0.17
目黒区		1.83		0.67	1.67	1.00	1.00			
大田区	0.78	0.60	0.11	2.78	6.00	0.89		0.89	0.33	0.11
世田谷	0.25	1.06		1.50	7.25	0.50	0.63	0.13	1.00	
渋谷区		1.00	0.25		5.50	0.25			0.75	0.75
中野区	0.33	0.33	0.67		7.67	0.17	0.17	0.17	0.33	
杉並		1.08	0.17	0.67	10.67	1.00	1.33		0.83	
池袋		1.86		0.50	0.50		0.25		0.75	
北区		0.17		0.50	7.00	2.00	0.75		1.00	
荒川区		1.00		4.00	7.00	1.00			0.50	
板橋区				0.17	2.50	0.33			0.33	
練馬区		0.58	0.20	1.60	3.00	1.00	0.60	0.20	0.40	0.20
足立		0.08	0.60	0.20	8.20	0.20	0.60	0.40	0.60	
葛飾区		0.11		0.75	7.25	2.50			1.25	
江戸川	0.80	1.33	0.20	4.80	4.80	1.40	3.40	0.20	1.80	
西多摩	0.20	0.33		1.40	4.60	1.40	0.40	0.20	0.80	0.20
八王子	0.50	0.10	0.25	5.75	17.50	2.00	1.25	0.50	1.50	0.75
南多摩	0.25			1.00	4.25	2.50	2.00	0.25	1.50	
町田		7.00		13.75	11.50	4.25	0.75	1.00	1.25	
多摩立川		0.23		0.83	1.67	0.67	0.17			
多摩府中		0.10		0.50	2.80	0.70	0.10	0.20	0.60	
多摩小平	2.17	0.71	0.67	1.17	16.50	1.33	0.83		1.00	
島しょ		0.50			3.00					

東京都合計	53	293	24	227	1,002	150	80	24	106	10
定点当り報告数	0.36	1.02	0.16	1.52	6.72	1.01	0.54	0.16	0.71	0.07

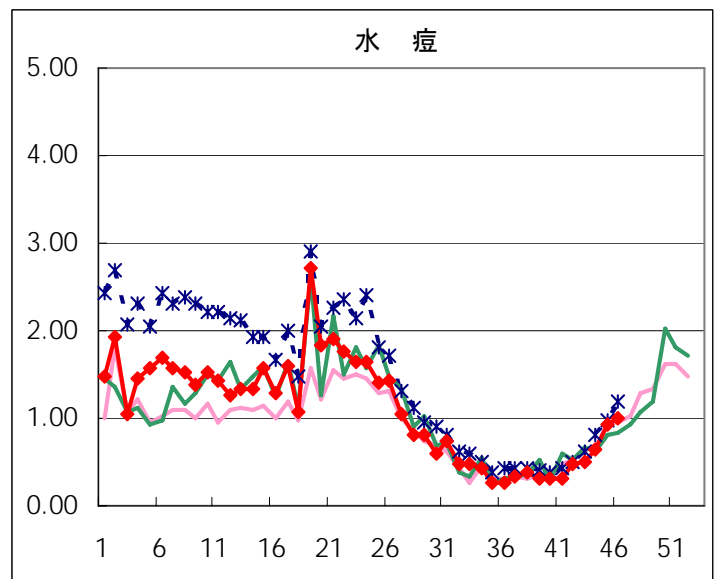
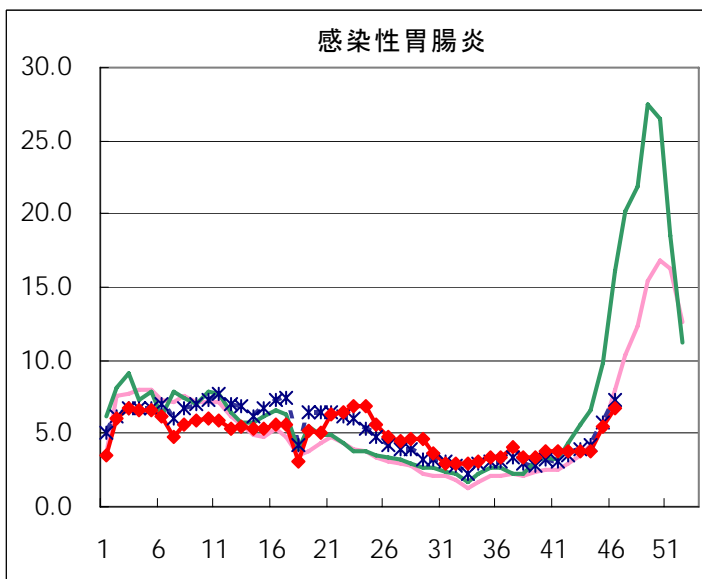
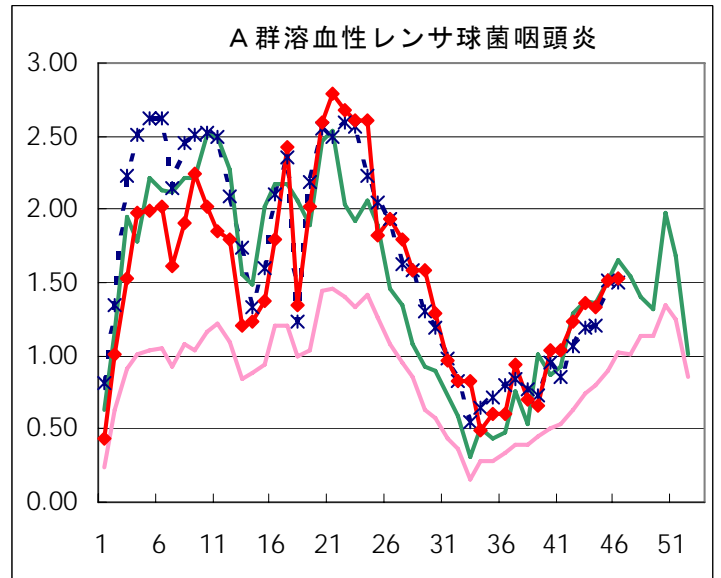
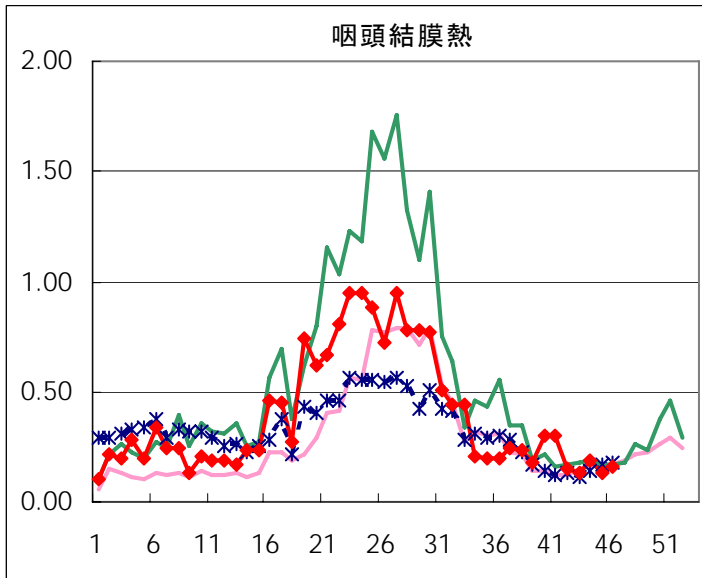
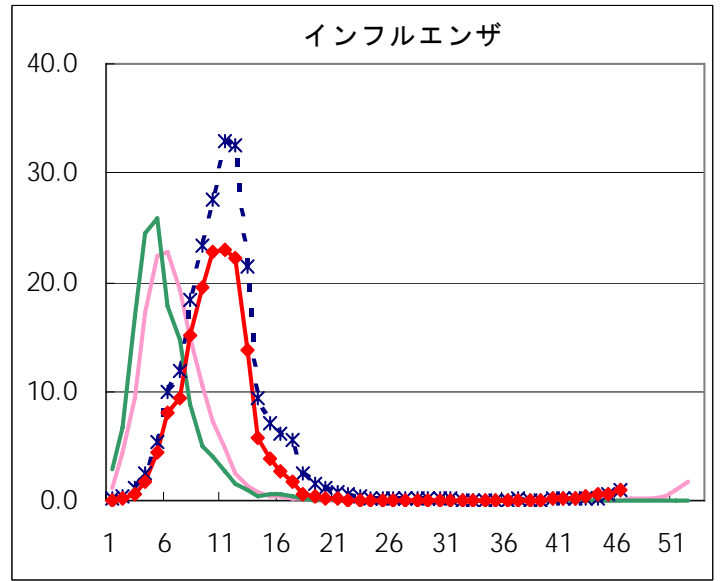
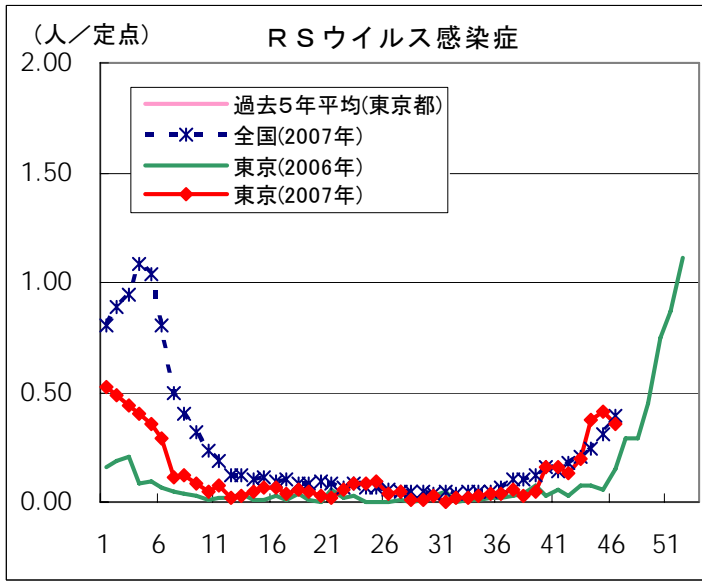


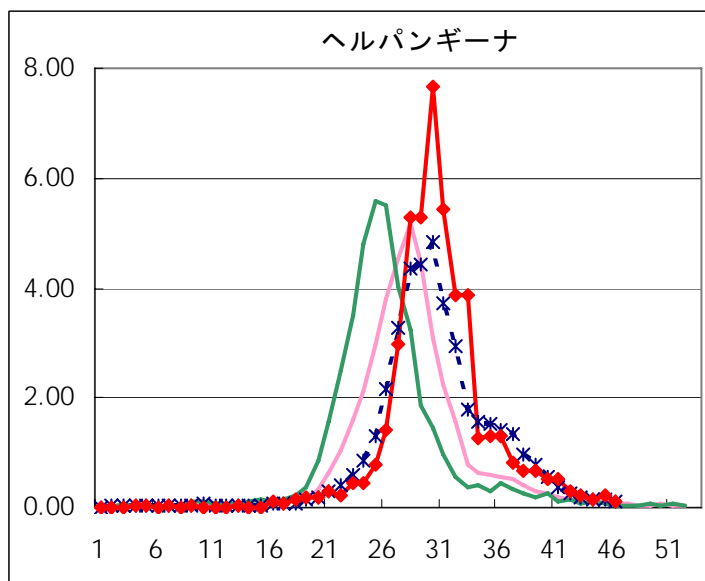
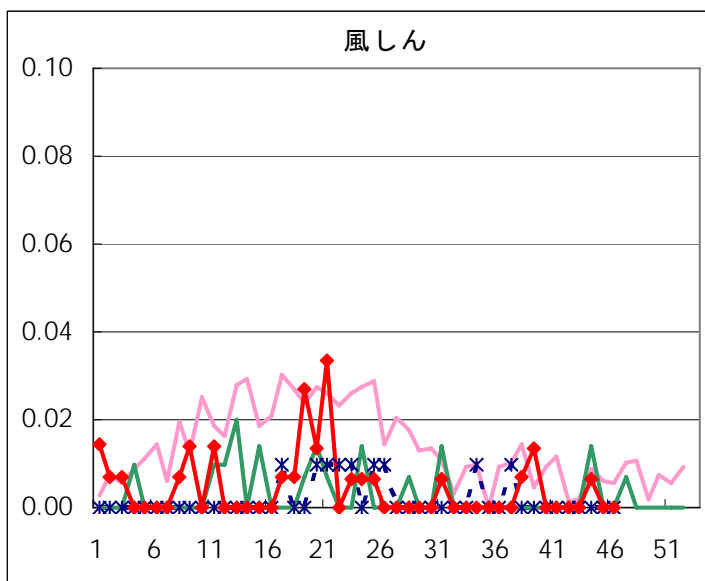
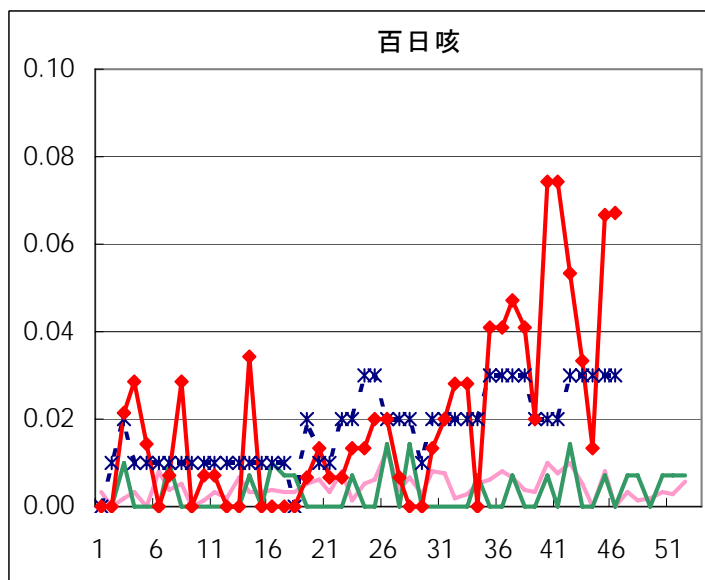
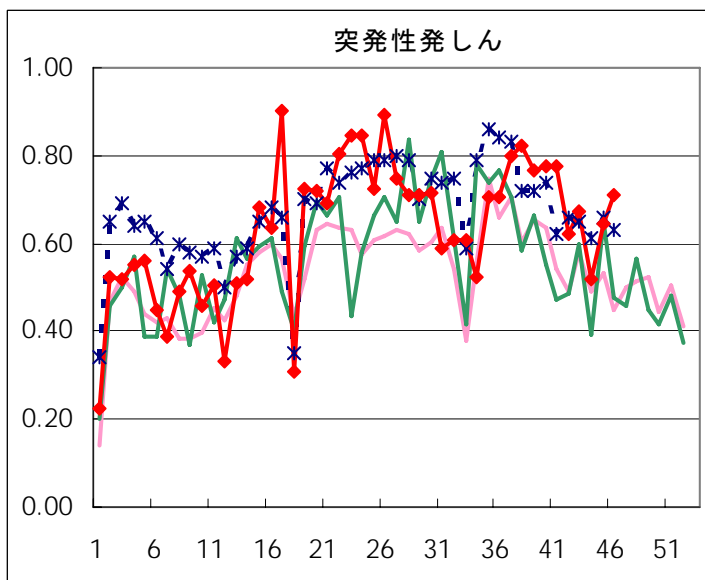
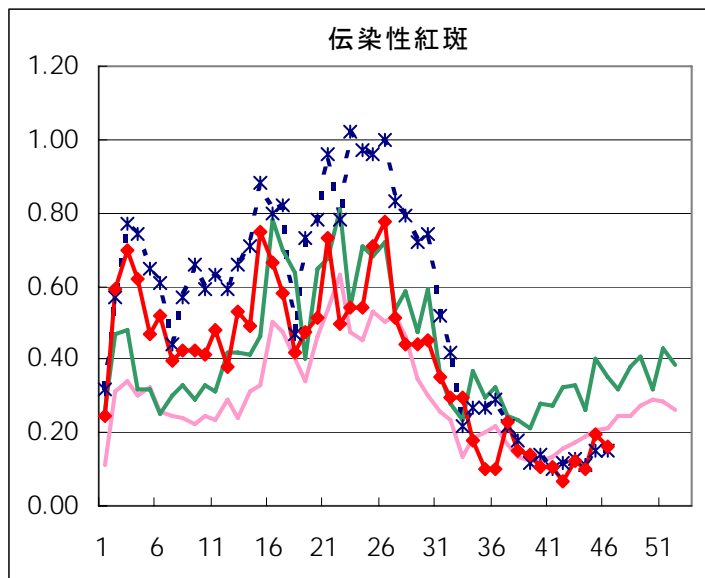
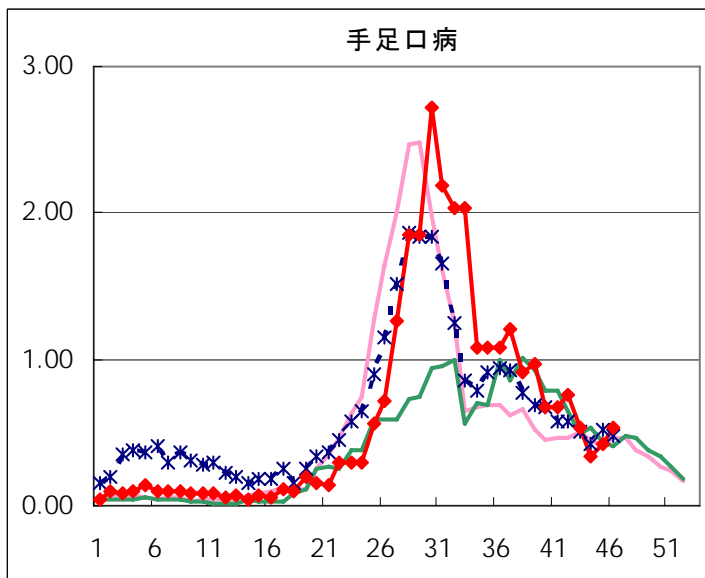
	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田								
中央区								
みなと							0.17	
新宿区						1.50		
文京				0.33				
台東								
墨田区		0.67						
江東区		0.50				1.00		
品川区			0.17	0.33			0.33	
目黒区						1.00		
大田区		0.11		1.11				
世田谷						1.00	0.13	
渋谷区		0.75				1.00	0.25	
中野区				0.17				
杉並			0.17	0.17				
池袋				0.75				
北区				0.25		3.00		
荒川区						1.00		
板橋区		0.17						
練馬区		0.60				0.50		
足立		0.20		0.20	2.00	1.00		
葛飾区						1.00	0.25	
江戸川		0.40		2.20		1.00		
西多摩		0.20						
八王子				1.00			0.25	
南多摩								
町田		0.75					1.75	
多摩立川				0.17		0.50		
多摩府中				0.20		0.67		
多摩小平						2.00		
島しょ								

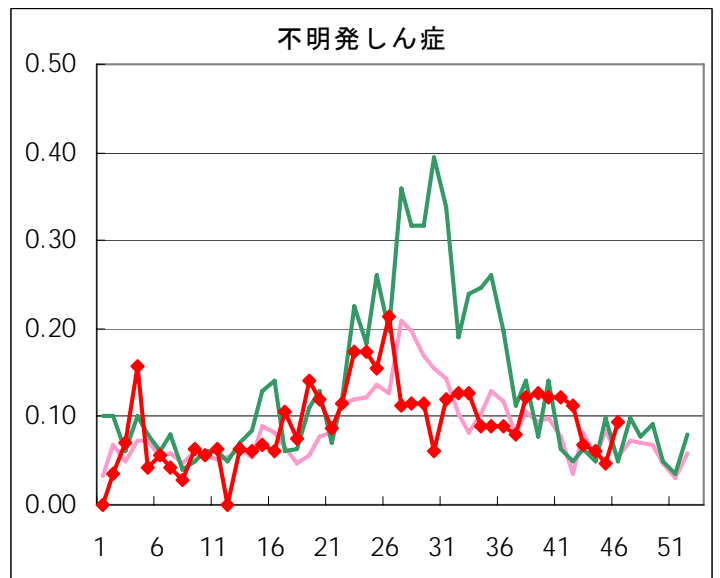
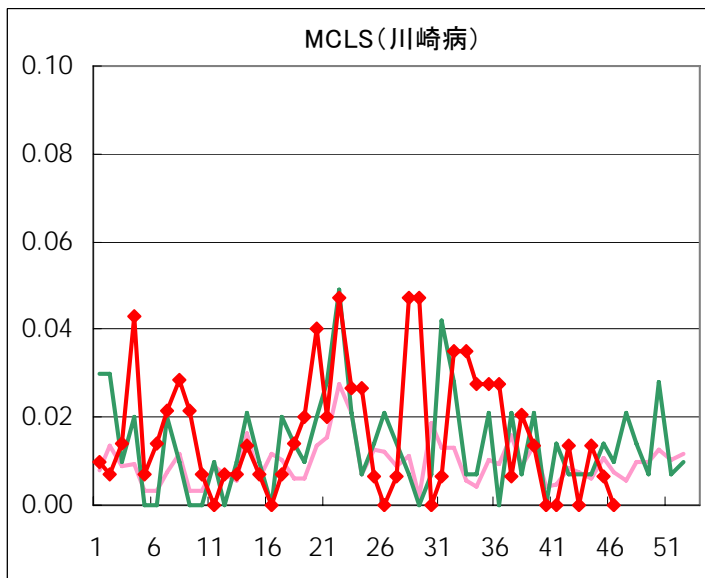
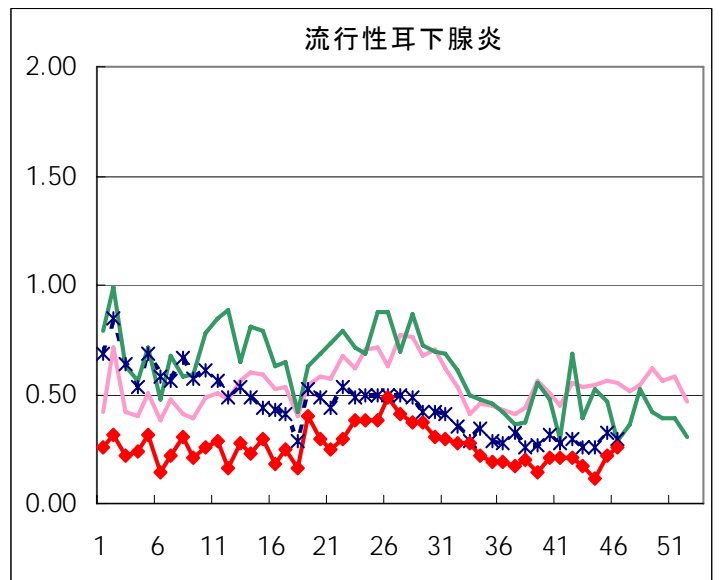
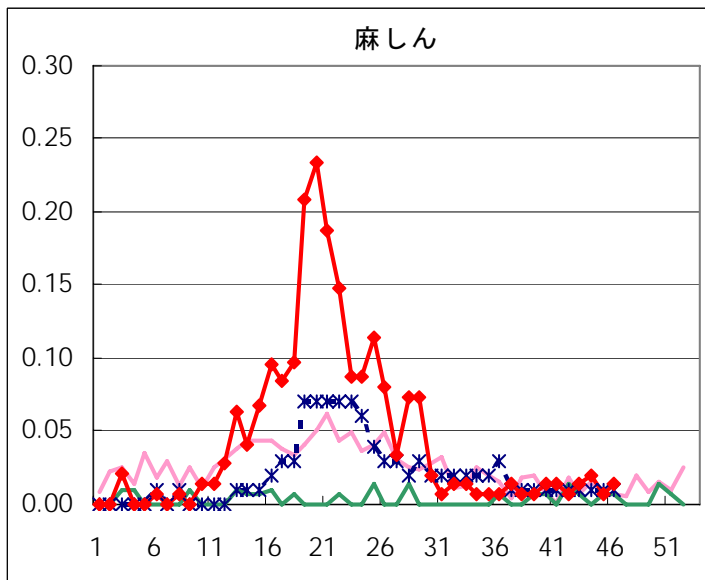
東京都合計	-	19	2	38	4	25	14	-
定点当り報告数	-	0.13	0.01	0.26	0.10	0.64	0.09	-

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2007年46週現在

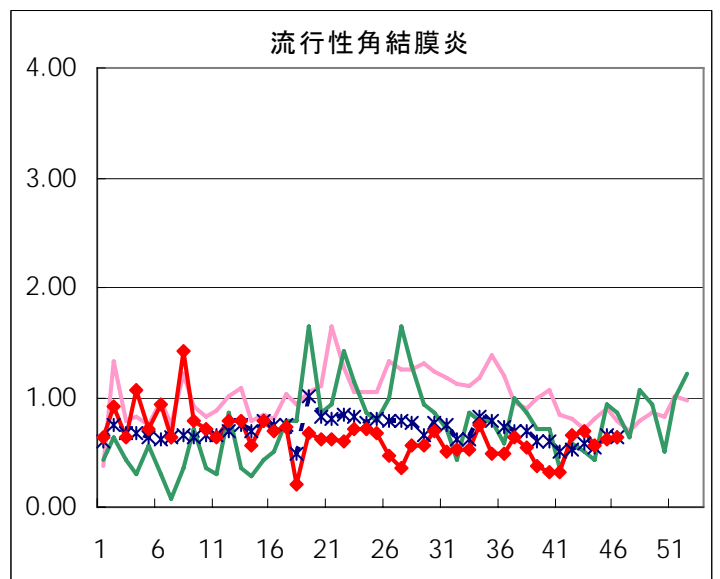
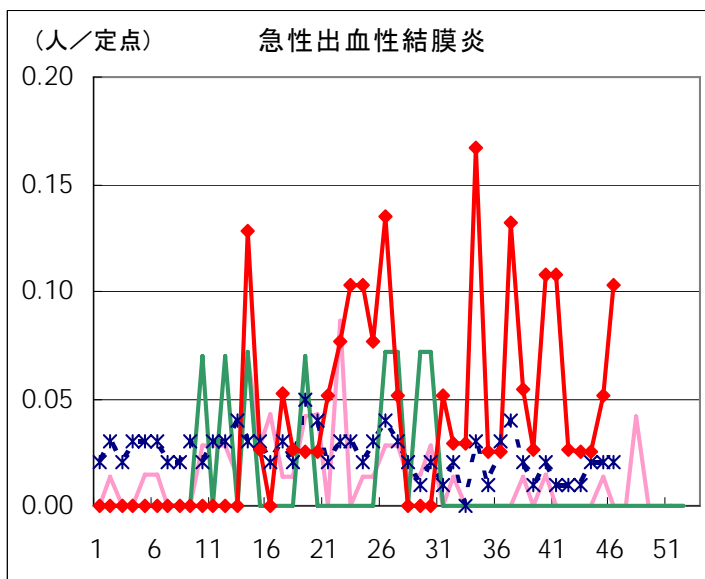
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点



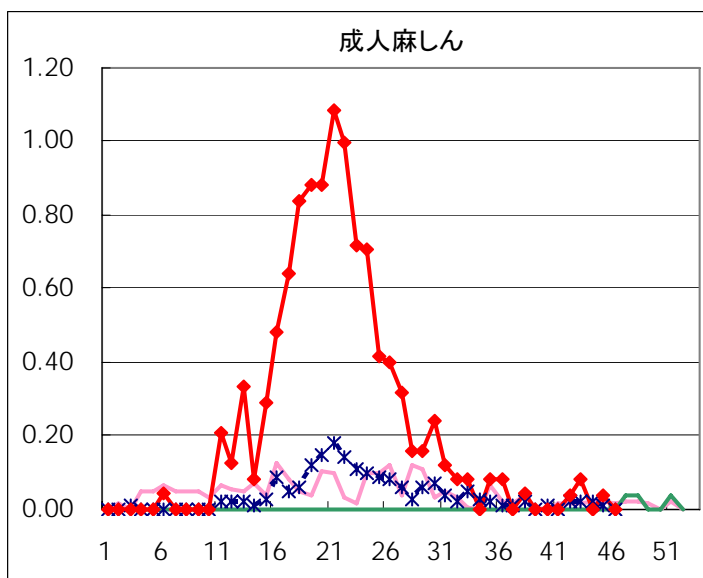
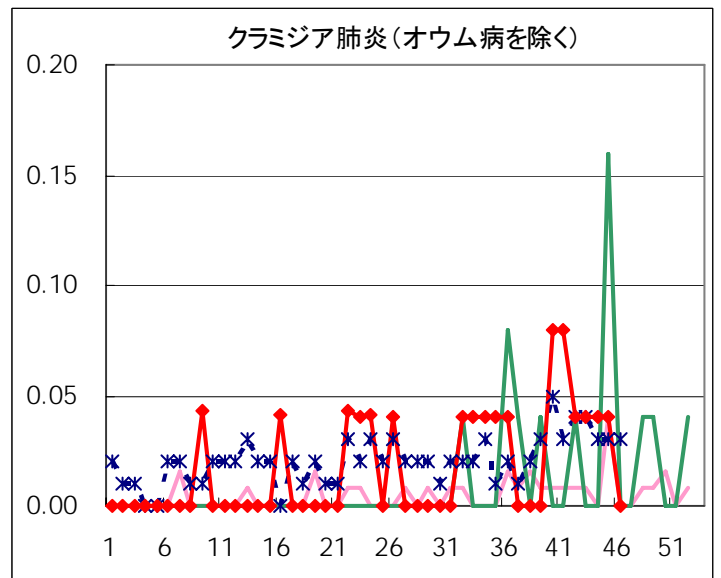
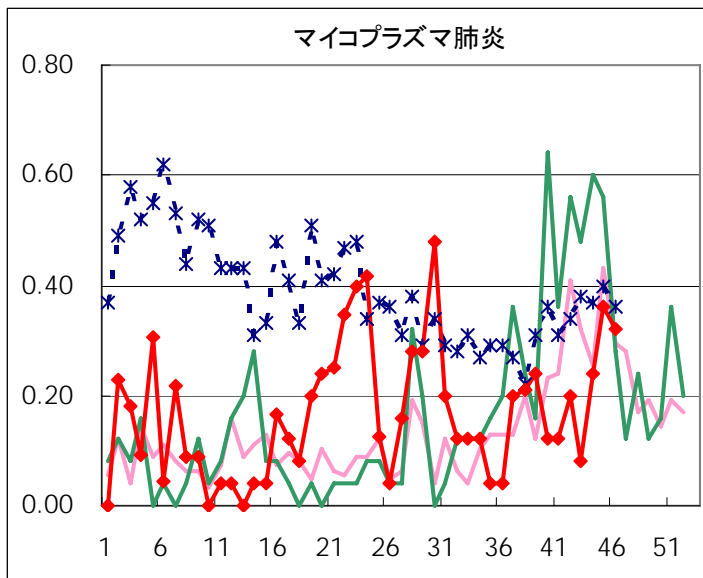
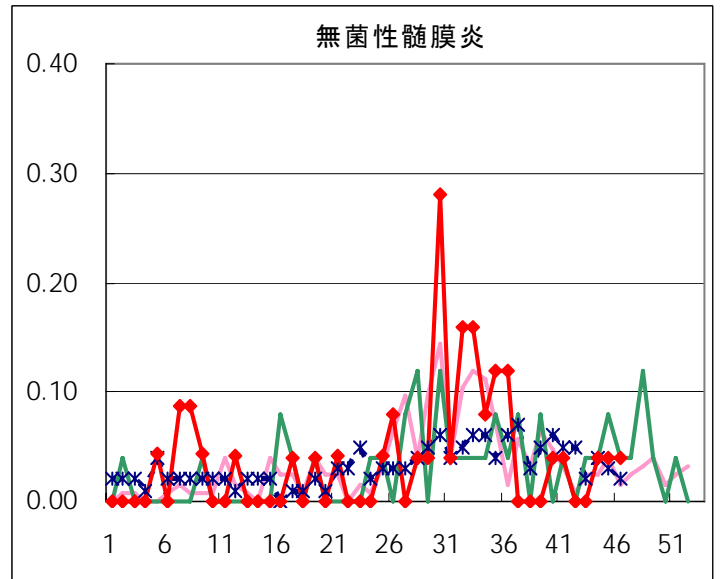
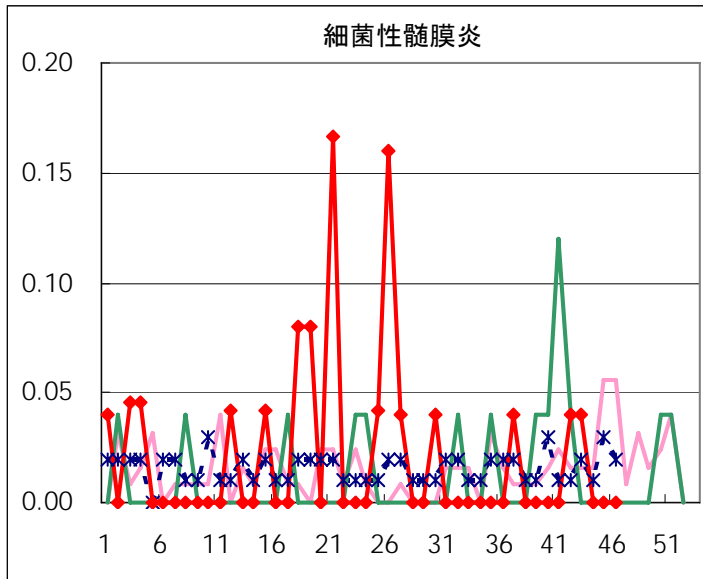




◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	290	286
眼科	急性出血性結膜炎	39	39
	流行性角結膜炎		
基幹	細菌性髄膜炎	25	25
	無菌性髄膜炎		
	マイコプラズマ肺炎		
	クラミジア肺炎		
	成人麻疹		
小児科	上記を除く疾病	150	149

## 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/2	咽頭結膜熱	3	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
11/4	下痢症	78	糞便	ノロウイルス	
11/4	急性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス	
11/5	RSウイルス性肺炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
11/5	ウイルス性脳炎	59	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
11/5	ウイルス性髄膜炎	13	髄液	水痘帯状疱疹ウイルス	
11/5	急性胃腸炎	6	直腸拭い液	エンテロウイルス	
11/5	急性胃腸炎	25	糞便	ノロウイルス	
11/6	咽頭炎	7	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
11/6	手足口病	2	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
11/7	感染性胃腸炎	9	糞便	A群ロタウイルス	抗体
				ノロウイルス エンテロウイルス	
11/7	小児喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	遺伝子
11/7	急性腸炎	9M	糞便	ノロウイルス	
11/8	急性咽頭炎	6	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
11/8	急性咽頭炎	11	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
11/8	喘息性気管支炎	8M	咽頭拭い液	エンテロウイルス RSウイルス	
11/8	急性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス	
11/9	急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス エンテロウイルス	
記載無し	胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス	
記載無し	肺炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス アデノウイルス	

週別検査状況 2007年38週～45週

検出病原体・抗体		2007年								合計
		38	39	40	41	42	43	44	45	
ウイルス	アデノ	1			3	5	2	8	4	23
	ライノ	1	1	1		1	1	1		6
	ポリオ									
	コクサッキーA群		1							1
	コクサッキーB群									
	エコー									
	エンテロ71									
	その他のエンテロ	3	6	3	7	9	4	9	8	49
	単純ヘルペス	1	1			4				6
	水痘・帯状疱疹					2			1	3
	ヘルペス6/7	3	4	2	3	5		3		20
	EB	1		4	1		1	2		9
	サイトメガロ			1		1	3		1	6
	ムンプス									
	麻疹									
	風疹									
	パルボB19									
	RS	1		1			2	1	4	9
	ノロ							1	7	8
	ロタ	1							1	2
	インフルエンザAH1		2		1			2		5
	インフルエンザAH3									
	インフルエンザB									
デング				2			1		3	
その他のウイルス	1			1	1				3	
細菌	カンピロバクター		1					1		2
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌									
	溶血性レンサ球菌									
	その他の細菌	1			1		1			3
その他の病原体										

臨床診断名別検査結果 2007年38週～45週

臨床診断名 検出病原体	インフル エンザ	上 気 道 炎	下 気 道 炎	感 染 性 胃 腸 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	咽 頭 結 膜 熱	A 群 溶 連 菌 咽 頭 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	ヘ ル パ ン ギ ー ナ	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	不 明 発 し ん 症	流 行 性 耳 下 腺 炎	水 痘	麻 し ん	風 し ん	そ の 他	合 計
搬入検体数	35	35	40	40	33	1		3	1	4		14		2	3		100	
アデノ		6	11			1		1		1		1					2	23
ライノ	2	1	2									1						6
ポリオ																		
コクサッキーA群		1																1
コクサッキーB群																		
エコー																		
エンテロ71																		
その他のエンテロ	2	15	10	5	4			1	3		3						6	49
単純ヘルペス					2									1			3	6
水痘・带状疱疹しん					3													3
ヘルペス6/7			1					1				5			3		10	20
EB		1										1					7	9
サイトメガロ			3		1												2	6
ムンプス																		
麻しん																		
風しん																		
パルボB19																		
RS			9															9
ノロ				8														8
ロタ				2														2
インフルエンザAH1	4		1															5
インフルエンザAH3																		
インフルエンザB																		
デング				1													2	3
その他のウイルス			3															3
カンピロバクター				2														2
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌																		
溶血性レンサ球菌																		
その他の細菌		1	2															3
その他の病原体																		
備考																		



## 定点医療機関からのコメント

### ◇インフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関から報告のあった患者に関するコメント
	A	B	
みなと	1		
	13		
目黒区	3		A型(1歳と4歳は兄弟)
	5		
	2		
大田区	1		
世田谷	1		
	4		4人ともA型。
	2		2人ともA型。
渋谷区	1		
中野区	2		2名はいずれもA型。
	1		
池袋	2		2名ともA型でした。
	1		
	2		
北区	1		
西多摩	1		A・B両方(+)
多摩立川	1		
	1		
多摩府中	1		
多摩小平	1		
	4		4名いずれもA型です。
	2		当院で初めてのインフルエンザ2名(7歳、8歳)です。
	1		20歳代女性

性感染症(STI)患者報告数【年齢階級別】 2007年10月

男						
年齢階級	* 膣トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳			3	1		2
20～24歳		1	18	6	7	16
25～29歳		3	34	8	10	19
30～34歳		1	27	8	11	23
35～39歳		1	18	10	3	12
40～44歳	1		19	9	5	5
45～49歳		1	4	5	2	2
50～54歳		3	8	4	2	1
55～59歳		1	3	1		1
60～64歳			2	1		
65～69歳						
70歳～		1				
合計	1	12	136	53	40	81
先月数	0	11	122	43	42	64
増減数	1	1	14	10	-2	17

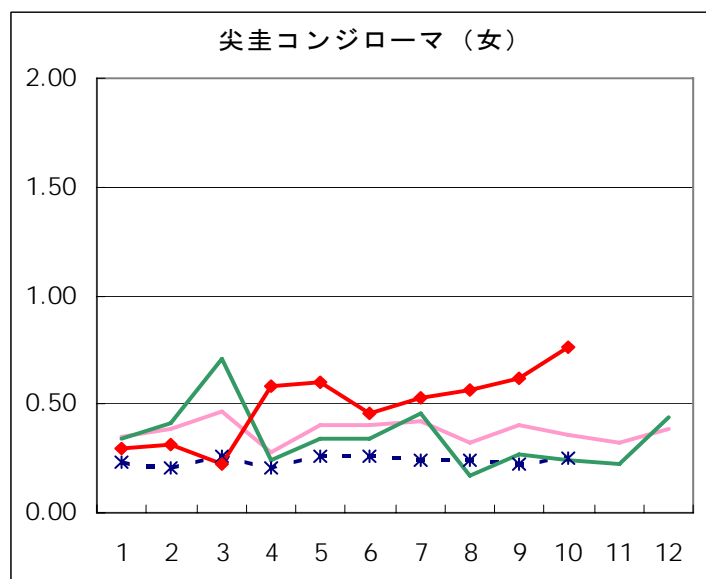
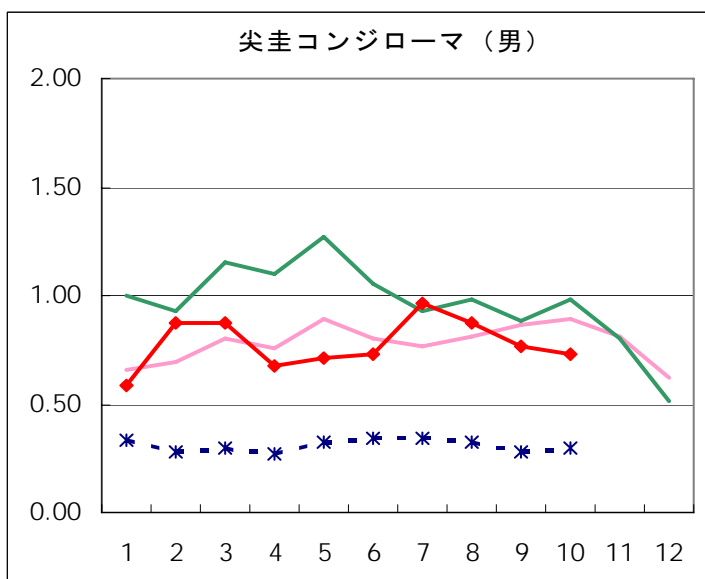
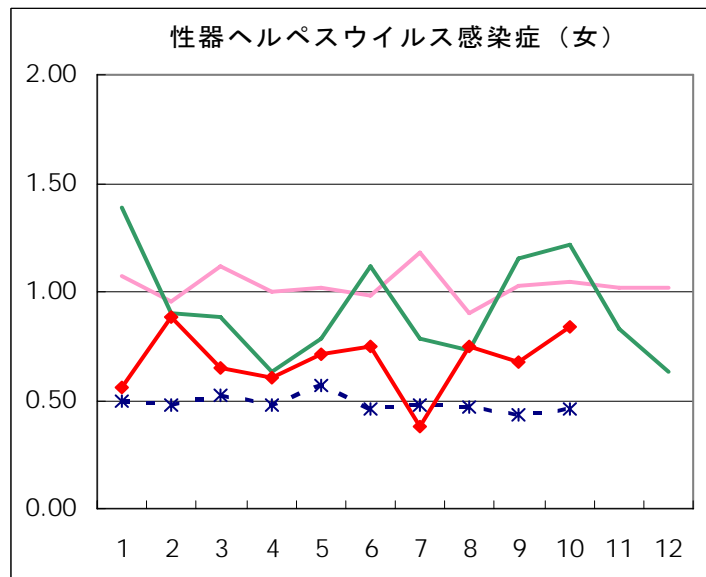
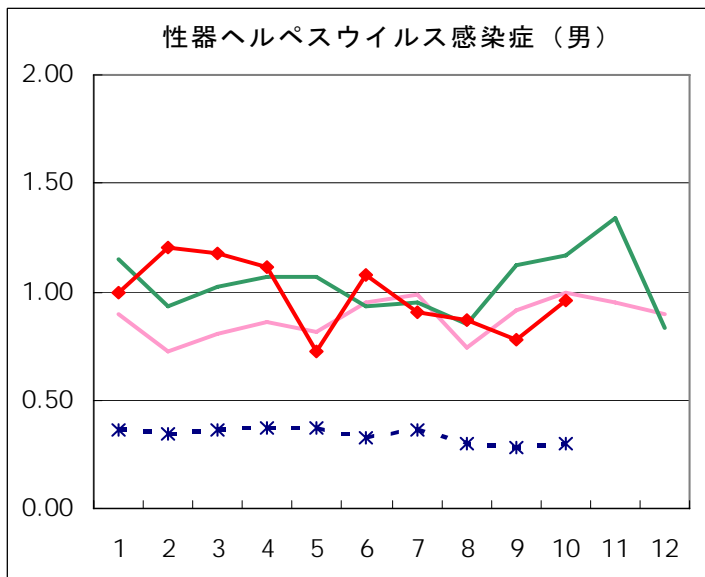
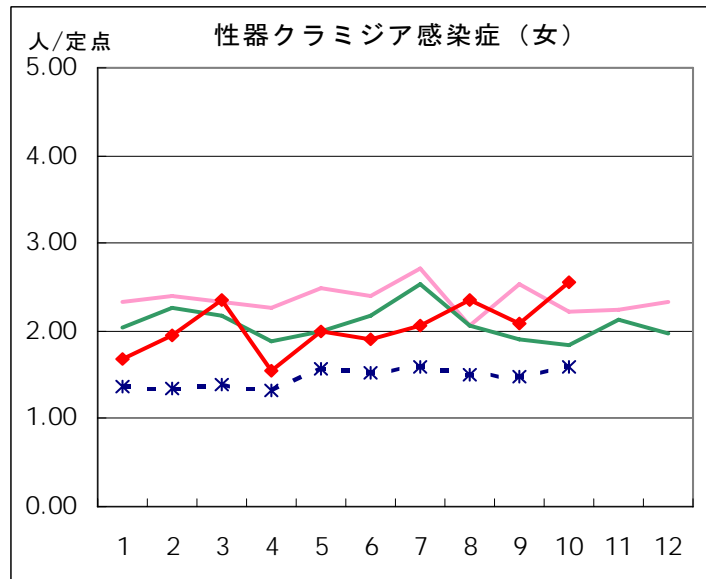
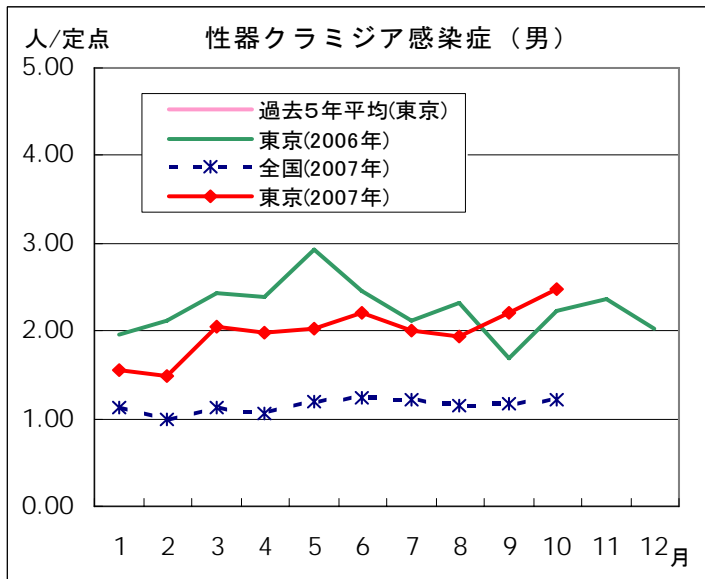
女						
年齢階級	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	1		16	3	3	4
20～24歳	5		45	9	12	4
25～29歳	6		33	12	12	7
30～34歳	5	1	24	7	5	3
35～39歳	2	2	15	3	6	1
40～44歳			6	4	2	1
45～49歳	1		2	3	1	1
50～54歳	1			1	1	1
55～59歳	1					
60～64歳				1		
65～69歳		1				
70歳～				3		
合計	22	4	141	46	42	22
先月数	14	3	115	37	34	10
増減数	8	1	26	9	8	12

\* 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

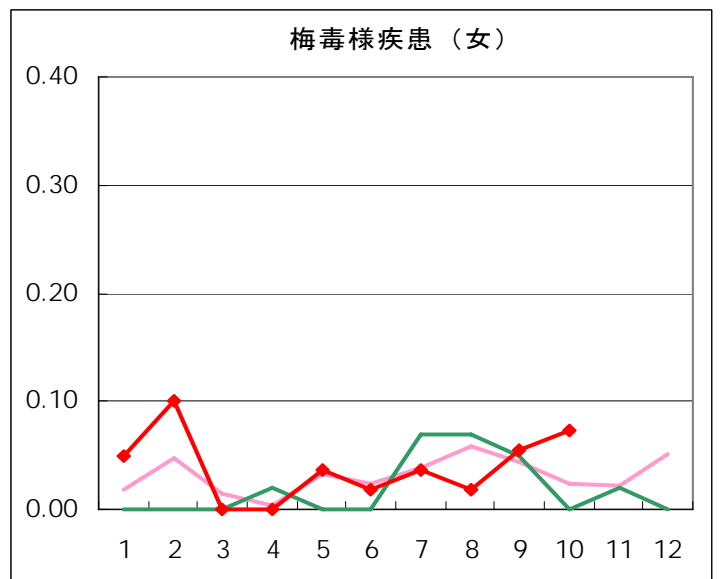
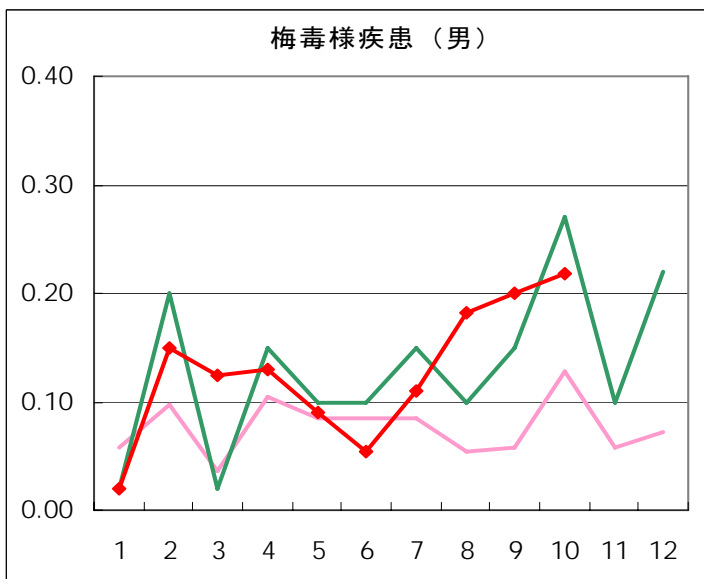
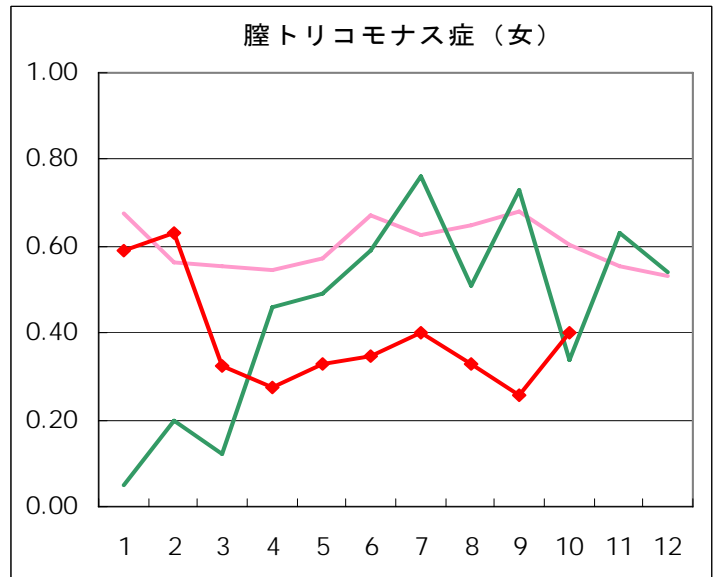
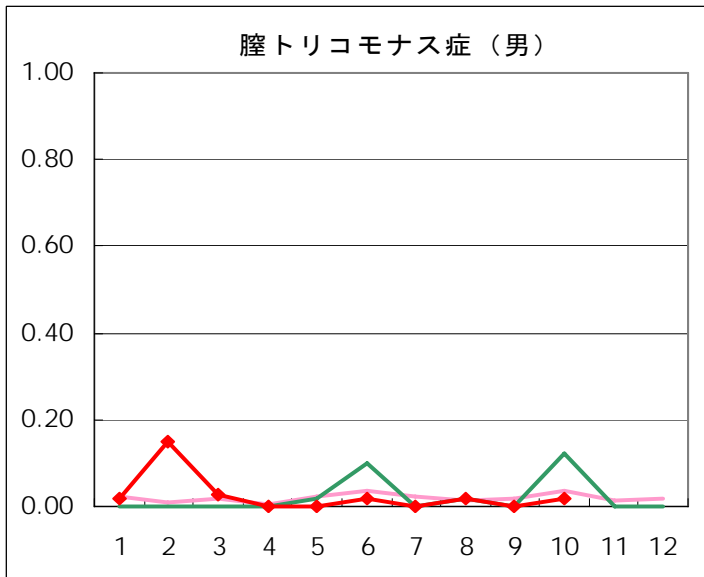
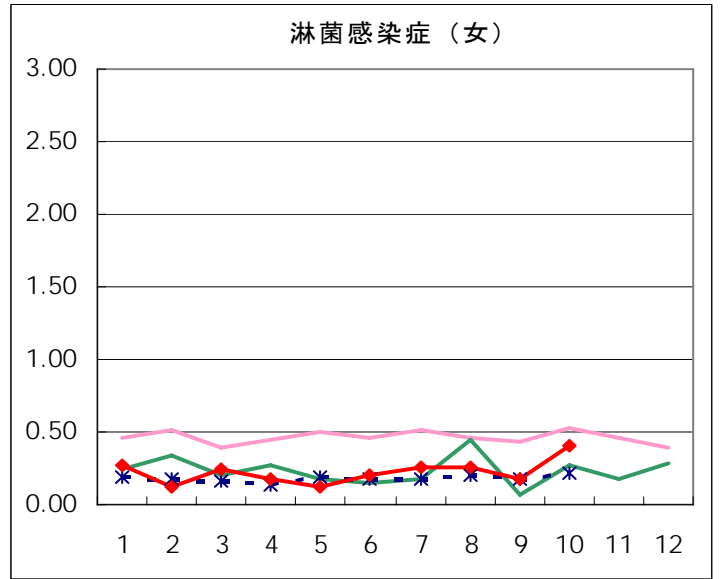
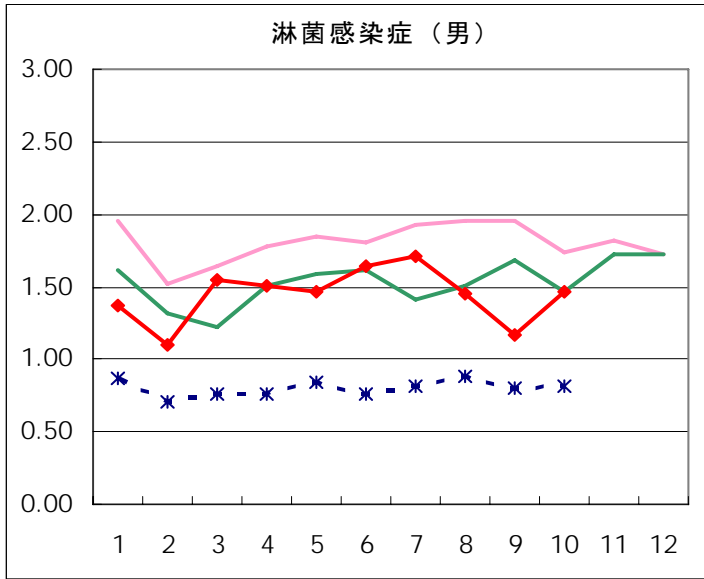
男								
保健所名	定点数	臙トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	総計
千代田	2		2	9	2	2	7	22
中央区	3			5	2		1	8
みなの	2			5	1	1	2	9
新宿区	6	1	1	41	31	26	29	129
文京	1			8	2		4	14
台東	3		1	1			1	3
墨田区	2		1	3		1	4	9
江東区	2		1	10	4	1	7	23
品川区	1						1	1
大田区	2			5			4	9
渋谷区	5		1	6	1		3	11
中野区	2		2	7			2	11
杉並	2			4	1		3	8
池袋	3		3	16	7	7	7	40
北区	1							
荒川区	1							
板橋区	2						1	1
足立	2			7	1		3	11
江戸川	2			4	1	2	2	9
八王子市	4							
町田	1							
多摩立川	2			1				1
多摩府中	3			4				4
多摩小平	1							
合計	55	1	12	136	53	40	81	323
定点当たり		0.02	0.22	2.47	0.96	0.73	1.47	5.87

女								
保健所名	定点数	臙トリコモナス症	梅毒様疾患	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペスウ イルス感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	総計
千代田	2			2				2
中央区	3			8	2			10
みなの	2	1		5	2	3	1	12
新宿区	6	8	1	14	13	3	7	46
文京	1							
台東	3	1		21	4	2	5	33
墨田区	2	1			1		1	3
江東区	2			4	1	2		7
品川区	1							
大田区	2			2	1			3
渋谷区	5		1	4	7	9		21
中野区	2	1		3		10	2	16
杉並	2							
池袋	3	1	1	10	5	5	1	23
北区	1							
荒川区	1			1				1
板橋区	2			17	2	1	2	22
足立	2					1		1
江戸川	2	3	1	10		2		16
八王子市	4	1		15	2	1	3	22
町田	1	2		1	2			5
多摩立川	2	3		21	4	3		31
多摩府中	3			2				2
多摩小平	1			1				1
合計	55	22	4	141	46	42	22	277
定点当たり		0.40	0.07	2.56	0.84	0.76	0.40	5.04

性感染症(STI) 患者報告数【推移グラフ】 2007年10月

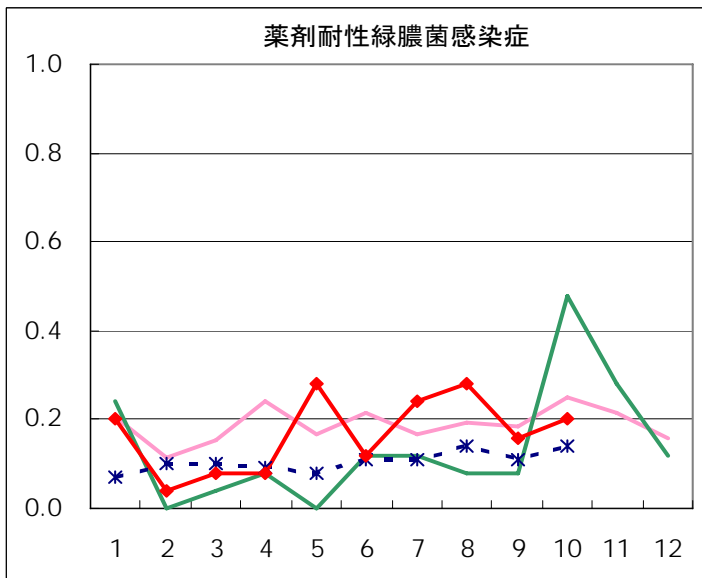
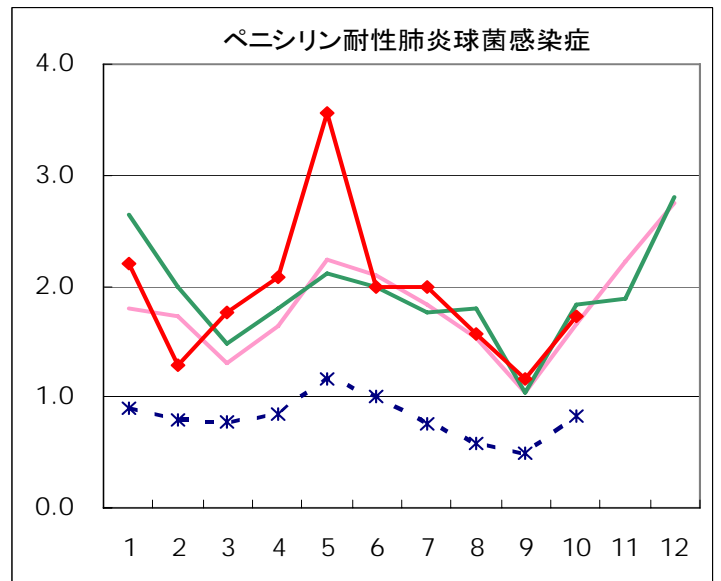
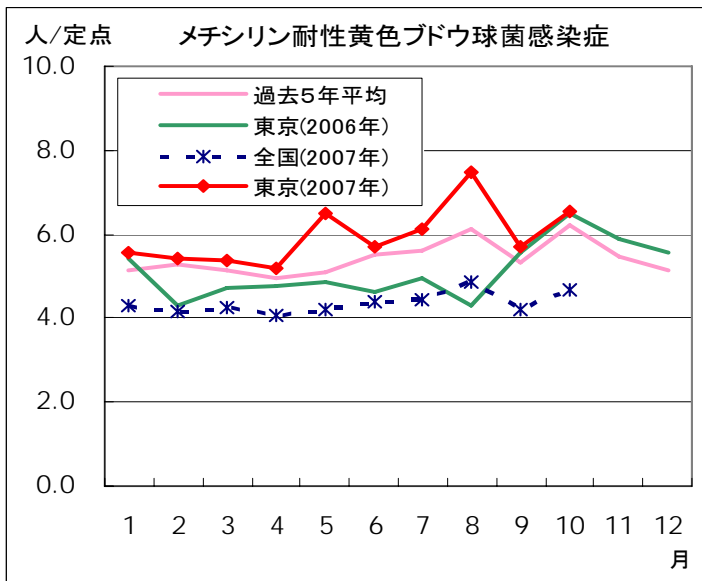


月報



薬剤耐性菌感染症 患者報告数【推移グラフ】 2007年10月

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	139	136	134	130	162	143	153	187	142	163			1489
ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	55	32	44	52	89	50	50	39	29	43			483
薬剤耐性緑膿菌感染症	5	1	2	2	7	3	6	7	4	5			42



疾病別の定点医療機関数			
定点種別	疾患	定点医療機関数	報告定点数
性感染症 (STI)	性器クラミジア感染症	55	55
	性器ヘルペスウイルス感染症		
	尖圭コンジローマ		
	淋菌感染症		
	膾トリコモナス症		
	梅毒様疾患		
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	25	25
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		

## 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

検査項目		検査数	検出数	検査試料	診断名
			(陽性数)		
梅毒	抗体	13	1	血清	膣炎、 子宮膣部ビラン、 ヘルペス疑い
クラミジア トラコマチス	遺伝子	13	4	子宮頸管擦過物	
	抗体	13	5	血清	
赤痢アメーバ	抗体	13	1	血清	
淋菌	遺伝子	13	0	子宮頸管擦過物	
トリコモナス	遺伝子	13	1	子宮頸管擦過物、尿	
ヒトパピローマウイルス	遺伝子	13	6	子宮頸管分泌物	
ヒト単純ヘルペスウイルス1型	遺伝子	13	0	子宮頸管分泌物	
ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子	13	1	子宮頸管分泌物	

クラミジア遺伝子陽性4例中2例からヒトパピローマウイルス遺伝子も検出されている。さらに、この2例のうち1例からはトリコモナス遺伝子も検出されている。

## <感染症豆知識>

### ダニ媒介脳炎

マダニがフラビウイルス属ダニ媒介脳炎ウイルスを伝播し、急性脳炎を起こす人獣共通感染症である。ユーラシア大陸の非熱帯の森林地域でダニの活動する5月から9・10月が感染時期で、毎年6,000人以上が発生し、ロシアでの患者が50%以上を占める。本症には、ロシアや極東地域のロシア春夏脳炎とヨーロッパ地方の中央ヨーロッパダニ媒介脳炎が知られている。ロシア春夏脳炎ウイルスは *Ixodes persulcatus*(シユルツェマダニ)、中央ヨーロッパダニ媒介脳炎ウイルスは *I. ricinus*(イヌダニ)が媒介する。人への感染は主にマダニの刺咬。1～14日の潜伏後、ロシア春夏脳炎は発熱、頭痛、悪心、嘔吐等のインフルエンザ様症状に始まり、その後痙攣、眩暈、羞明、精神錯乱、昏睡、重篤な髄膜炎、脳炎症状を呈す。回復後は運動麻痺や精神・神経症状が長期間残る。致死率は30%程度である。中央ヨーロッパダニ媒介脳炎では、インフルエンザ様症状が見られ、解熱の数日後に再発熱し、痙攣・眩暈・知覚異常などの中枢神経系症状を呈する。ロシア春夏脳炎に比べ症状は比較的軽く、後遺症は感覚障害が主で、致死率も1～5%である。動物は、不顕性感染で耐過するが、ヤギにウイルスが感染すると乳汁中にウイルスが移行し人への感染源となる。ウイルス特異抗体の検出、PCR法によるウイルス遺伝子の検出により診断する。治療は特異的人免疫グロブリン製剤の投与、予防には不活化ワクチンの接種が行われるが、日本では未承認である。1993年北海道で本症の患者が確認され、同地域のイヌ、野ネズミ、*I. ovatis* (ヤマトマダニ)からもウイルスが分離されている。

(文責・日本大学医学部生物学教室准教授 池田忠生)